

# F M局を活用した読書活動の推進

小国町

Q1

小国町の学校に係る図書資料数及び一斉読書実施校数を教えてください。

校 種	学 校 数	図書資料数	一斉読書実施校数
小 学 校	6 校	24,884冊	6 校
中 学 校	1 校	10,769冊	1 校

※平成21年度、小学校6校は、統廃合により1校となる予定。

Q2

小国町山村開発センター図書室の資料数について教えてください。

種	児 童 書 数	所 蔵 数
小国町公民館図書室	6,047冊	18,366冊

Q3

小国町が、「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」などに行っている読書の催し物があれば教えてください。

隔週放送している「図書室だより」のコーナーで、オススメの本や是非読んで欲しい本を紹介しています。

Q4

小国町の学校で行われている、子どもの読書活動に係る取組をいくつか教えてください。

学校名	いつ	どのようなことを
西里小学校	1学期（7月）	校内童話発表会
北里小学校	1ヶ月半に一度	家族読書（4人グループで本と感想を書いたノートを袋にいれ順にまわして読む）
下城小学校	毎月	名文暗唱（毎月決められた「名文」を集会時に暗唱）
宮原小・蓬萊小・下城小 万成小・北里小・西里小	週1回～隔週1 回程度	保護者・ボランティア・学校職員による読み聞かせ

## Q5

小国町では、ローカルFM局（コミュニティFM）を活用した朗読などを行っていただけますが、このことについて教えてください。

### ※経緯

小国町のコミュニティFM「エフエム小国」では、平成10年7月の放送開始当時から、朗読ボランティアグループ「銀の鈴」のメンバーのみなさんが、子どもたちや保護者のために児童向けの本を読んだり、また、目の不自由な方のために広報『おぐに』を読んだりなど、電波を通じた（活用した）読み聞かせに活動に取り組んできました。現在では、町内の小学校で読み聞かせを行っている保護者や地域のボランティアなども放送に加わり、以前にも増して内容が充実してきています。

### ※具体的取組

「エフエム小国」の読み聞かせのコーナー（『お話の話』）は、現在、毎週火曜日のお昼の時間帯を使い放送しています。各学校の読み聞かせは、保護者などが持ち回りで順番制となっているため、番組出演においてもその順番に添った取組となっています。放送は、お昼の15分程度なので、学校によっては給食時間にラジオ（場合によっては録音）を聞くこともあるそうです。

### ※成果や課題

【読み聞かせをする保護者が児童用の本に興味を持つ → 読む順番が回ってくると図書室を頻りに訪れる → 時には家族で連れ立って本を借りに来る】といった効果が見られるになりました。一方で、読み聞かせに選ぶ本が重なることもあるため、どの図書室においてどの本を提供できるかといった情報の整理などが課題となっています。



「エフエム小国」での、お話の朗読の様子

## Q6

この事例集を読まれるみなさんにメッセージをお願いします。

子どもの本に対する興味の一助は、周りの大人たちの腕にかかっているといっても過言ではないでしょう。

本の「面白さ」をどう伝えるか（紹介するか）という問題は、決して簡単なことではありませんが、家族であったり、近所のおじちゃんやおばちゃんであったりといった、「自分たちのために本を読んでくれる人がいる」ということを感じさせていくことが、子どもたちの、本に対する興味の高まりへと結びついているように感じます。

「人との繋がりが、本との繋がりと」言えるように思います。